



#パラグライダーで大空を飛ぶ

#村の花「ハイビスカス」



#中城湾の朝日

#中城村の名店「ちゆるげーそば」の軟骨ソーキそば

護佐丸歴史資料図書館の濱口寿夫館長と花岡美樹子さんに聞いた!

福智町コーナーの資料増やして大幅リニューアル

歴史資料館・図書館・避難所の複合施設「村立護佐丸歴史資料図書館」内に開館時から設置する福智町コーナーが資料を増やしリニューアルされました。コロナ禍で利用者が減少した今年、館内の見直しの一環で福智町コーナーも強化され、「広報ふくち」などの資料を追加展示。遠く離れた兄弟都市・福智町の魅力がより伝わるコーナーに生まれ変わりました。



仲間さん、仲座さん、富島さん、高嶺さんに聞いた!
「糸蒲の縁」が未来遺産に登録

南上原自治会子ども組踊塾生による「糸蒲の縁」が、令和元年12月に日本ユネスコ協会連盟の「プロジェクト未来遺産2019」に登録されました。優れた指導者によって磨かれた高い芸術性だけでなく、伝統芸能で新旧住民間の連携を深めている点で評価を受けてトップで当選。仲座さんは「新しく発展している南上原のアイデンティティーになっている。いつか兄弟都市の福智町の皆さんの前で糸蒲の縁を上演できれば」と意気込みを語りました。



企画課・比嘉健治課長に聞いた!

人口急上昇! 全村人口増加率ランキングで1位

中城村は、「琉球大学」に隣接する「南上原地区」の整備で自然と都市とが共生するまちづくりがなされ、平成22年に15,840人だった人口が現在では約72%増の22,051人になるなど驚異の人口増加を記録。全村人口増加率ランキングでも1位を誇るまでに成長しました。また、中城村の主要施策・子育て支援でファミリー層が大幅に増加。村の活力となる若年層を支援するため、今後も子育て世帯の支援施策を進めていきます。



総務課・与儀忍課長に聞いた!

55年ぶりの中城村役場新庁舎がついに完成

旧村役場庁舎の老朽化や人口増加に伴い、55年ぶりに新庁舎が建設され、1月4日から新庁舎での業務を開始しました。「村民にわかりやすく、利用しやすい庁舎」など6つの基本理念を基に建設された新庁舎。村の中心部に位置し、村内のどの地域からでも車で10分以内に来庁できる新しいランドマークとして、早くも村民に親しまれる庁舎となっています。



NAKAGUSUKU VILLAGE
Population: 22,051
Area: 15.53km²

福智町の兄弟都市が「中城村」と知っていても、村では実際にどのようなことが起こっているかは、なかなか知る機会が少ないですね。ここでは、村の皆さんにお伺いした中城村の5つの最旬情報を紹介。兄弟都市の「今」をのぞいてみましょう。

中城村の皆さんにお伺いしました!

兄弟都市「なかぐすく」の最旬情報5つを紹介します!



中城村の英雄「護佐丸」に扮した村観光協会・鳥袋雄一事務局長に聞いた!

村が誇る「中城城跡」世界遺産登録20周年

中城村を代表する史跡・中城城跡は、15世紀中頃に城主「護佐丸」が当時の最高技術で増築した歴史的に極めて高い価値を誇る城として、平成12年に「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の1つとして登録されました。昨年12月には登録から20周年を記念し、中城城跡ラベル記念泡盛や御城印帳、オリジナルなかボロの販売、うちなーぐち(沖縄言語)のことわざで占(黄金言葉みくじ)を城跡の入場者に無料配布するなど、村を挙げて中城村と中城城跡の魅力をもPRしました。



兄弟都市締結5周年記念特別企画

中城村の厳選特産品セットを抽選で5名様にプレゼント!

中城村特産品「島にんじん」や地元食材を贅沢に使用した「We baked cake」「しびいんジャー」「He is カレー」の豪華セットを抽選で5名様にプレゼント。この機会に、なかぐすくぬ、まーさむん、うさのみそーれー(中城の美味しいもの、召し上がり!)



応募方法 ハガキ裏面に、①郵便番号②住所③氏名④兄弟都市事業へのご意見・感想⑤「広報ふくち」へのご意見・感想を明記し、郵送でお申し込みください。

送付住所 〒822-1292 福岡県田川郡福智町金田937-2 福智町役場 まちづくり総合政策課 広報・広聴係「兄弟都市5周年企画担当」宛

注意事項 お一人様一回の応募となります。／当選者の発表は、記念品の発送をもってかえさせていただきます。

応募締切 ▶ 3月26日(金) 消印有効

福智町と沖縄県中城村が兄弟都市提携を結んで5年、「とよむ中城村」に迫る!

福智町の兄弟都市

なかぐすくの今!



兄弟都市締結から5年
生まれた絆、今後も

福智町から南西に約90km離れた場所にある兄弟都市・中城村。平成7年に児童交流から始まった両町村の友情が結実し、平成28年3月に兄弟都市提携を結びました。その後は交流の輪を広げ、特産品販売や広報紙での紹介、スポーツ交流を実現。中城村・浜田京介村長はこれまでの歩みを「民間主導で生まれた絆が幅を広げ、今では行政間の取組を生み、両町村の新しい出会いやつながりを育んできました」と振り返り、「締結から5周年の記念すべき今年度は、コロナの影響で交流を中止せざるを得ない状態にありますが、コロナが落ち着いたら、今年度できなかつた分、これまで以上に楽しく実りある取組を行っていきたくと考えています」と展望を語りました。

中城村
浜田京介村長



#世界遺産「中城城跡」から村の中心部・中城湾を望む



#中城村の職人が手掛けた「琉球螺鈿」



#中城村の特産品「島にんじん」



#新庁舎前の守り神「シーサー」